いわき民報
平市田町四八番地電話三八一番
編輯兼發行人　千葉克巳
印刷人
日刊　但月曜を除く
定價一部七十錢　一月二十円
發行所　いわき民報社

木炭林産組決然起つ

業者の死活問題と——全官公ストに對處し

石城木炭林産組合及び農業會石城支部では今般の全官公廳勞働運動に對して第三者として、その本質には何等容喙するものでないが、スト戰術等の運動により薪炭生産者の受ける影響打擊は甚大で、即ちストにより政府買上機關（福島木炭事務所）の薪炭供出代金支拂が極度におくれて二月以降の供出分に對しては支拂がない從つて生産者は主食はもちろん日常生活必需品の受配にすら事欠く樣になり又集荷機關は輸送に絶對必要な出荷證明書の交付を受けることが出來ないで山元に滯貨が增加する一方であるかくては業者の死活にかゝる重大問題であるばかりでなく、一般消費者に及ぼす影響はすこぶる大で、再建日本の前途に多大の暗影を投じることになるから、此の急迫した事態を收拾するため我々生産者團體が自主的に荷受配給機關と協力して一般消費者に速かに配給、生産者に支拂うべき代金の受渡しは集荷機關と配給機關の事務的運營に依り支拂の圓滑をはかるよう農林當局の薪炭買上事務が平常に復するまで實行、ヤミ取引を誘發することが起らないよう具體策を愼重協議の上、四月一日を期して一齊に實行に移すことに態度を決定、組合長永山忠二、支部長蓮田一郎兩氏の名を以つてこれが諒解、容認方を檢察當局並に監督官廳にその善處方を要望するとゝもに政府並に全官公廳勞組に訴えることに二十六日決め直に手續をとつたが此の結果如何は他にも大きな波紋を投げるものとして成行を注視されている。なお郡下の業者は千六百名で未支拂金は三月上旬までの分でざつと六萬俵、一俵六十圓に換算して三百五十萬圓の巨額となつている

職業指導協議會結成

兒童生徒の指導調査に

新制中學校卒業生の就職熱はさつぱり上らず平公職安定所でも見切りをつけた形だがこの卒ぎよう生の職業指導を行う必要があるので安定法に示された職業指導協議會を急速に結成する事になつた、此の協議會は郡下三十八の新制中學校と新制高等學校、主なじぎよう場の雇主がはから各二三名更に安定所側から

民報論壇

料飲店の再開問題

料飲店が再開すれば五百億圓の稅收入が可能だが、主食の流通秩序堅持の重要性から見て目下再開の意志はないと北村藏相が去る二十三日の議會で言明した、昨年七月以來全國の業者が營業を閉されて不安と焦そうの裡に生活して來ているが若しも再開を許せば此の五百億の遊興稅飲食稅が上り業者とその關係者七十萬が助かることになる

本縣には此の營業者は千五百、平市で百十軒あり、推定稅額は縣十七億、平市一億二千萬と業者は見ている、縣下の業者は主食の流通秩序を亂さぬ範圍内でやるから再開を許して欲しいと來る四月中頃平市に總會を開いて態度を決定し全國の業者と提携して政府に迫ることになつたが、本問題について考えさせられることは政府は料飲店の現狀を知らないと云うことである、業者の大部分は裏口營業を行い無稅で相當の收入を得ているのである、然し其の秘密營業であるだけに若しも違反に問はれゝば多大の打擊を受ける不安がある、即ち實收はあるが絶えず不安と焦そうがつきまとつているのでこの精神的惱みを解決して欲しいと云うのが業者の念願なのである

政府は豫算の約四分の一に當る莫大なこの稅金を欲しくない樣はない、而して再開を許さぬ理由は前記の外に對外關係の一つの理由があると思はれるが、それは政府の政治力の貧困から來ているものと見られる、平市に於て酒の問題丈を取上げて見ても一斗樽とか二斗樽で自由販賣をしている、これは無論大衆が買える譯がなく大部分が料飲店に流れ消費させている、それが無稅で消費し金のある者丈が呑んでいるのである、斯うした實狀から見ても政府は速急に營業を許し稅收を計つて他の惡稅緩和につとめることが必要であろう（田原）

特定地決る

きのう設定打合會を

野菜栽培の

縣主催の蔬菜特特定地として指定し大産地設定打合會は既報の如く二十五日午前十時から石城地方事務所に開いた　平市を始め炭鑛と漁場などの消費地帶を有する當地方のため郡内生産物の有効な利用を圖る爲その特産地を設定して青物の計畫的な配給を行うと云うのが狙いで郡内主生産地側の協力を求めたがこの結果飯野　夏井　神谷　草野　錦（植田は欠席）を

平八十八町　草野十一町　飯野二十六町　神谷二十二町　夏井三十七町（植田欠席したため不明だが約二十町）の耕地に計畫生産を實行させることになつた、なお出荷に對する肥料や生産資材のリンクなど具體的なことは後日出入荷兩組合側も加えて

胡瓜　タマネギ　南瓜　菠菜などを

全官公ストに對處し

連絡機關設置

中立組合代表者會議で決る

常磐地方中立組合代表者會議は二十四日平市えびす講演會館に縣下三十三組合（六千九百名）中十組合代表が出席、組合の連絡機關を設置することになり、その草案は原、松本の兩氏に依託後日中立組合代表者會議に於て協議する

全遞再びスト

反省のあと示しつつ

全遞平局支部では福島で協議する地協の指令に基き二十七日午前零時から二十四時間ストに突入する今度も前回と同樣電話電信、郵便、貯金とも一切停止する、なお同支部では大衆の支持を得るため非常災害、人命救助、公安維持に必要な電話をスト中といえども特に受付ることになつたが、此の點幹部の反省が幾分現れて來たものとして好感を持たれている

學童服配給

衣料切符不用

石城地方事務所では自作農創設特別措置法の一部改正に伴う牧野解放運動の一環として各町村農地委員會への買收牧野の處理利用の制定その他諮問機關として石城牧野協議會を設置、同所内に事務所を置くことになつた、委員の構成は農林省專門技術家のお歴々で高田農業經營（蹄）に渡邊陽一技師（一般農事關係）松本榮技師（畜産關係）菅野敏夫林産（蹄）長（山林關係）片寄明男囑託（開拓關係）がそれ〳〵委員に當る、なお牧野買收の對象となるものは第一に不在地主の小作牧野は全部買收

割當ては一萬一千九百六十六着の學童服七千五十四着、學生服四千九百十二着で大、中、小とあるが購入の場合衣料點數はいらず特殊切符で現在値段の判つているものは學生男物最高三千十七圓三十錢最低二千五百四十七圓六十錢、學生女物九百二十圓二十錢、六百三十六圓六十錢である、購入期間は一月二十日から七月十九日までとなつている

牧野協議會を

委員顔觸れも決る

石城地方事務所では自在存地主の小作保有面積を二段歩が限度、在作農地は地主選からの反放の意向も豫想される成行き

町村農地委員會の買收對象からみてその前途は地主選からの反放の意向も豫想される成行きを注視されている

違反は嚴罰で

平署價格表示取締り

平自治署では二十六九の兩日　市内一般商店の價格表示の徹底指導取締りを行う　特に今回は規則違反業者に對しては左の如く嚴重な行政處分で臨む事になつているから注意してほしいと

◎價格表示又は規則取締り違反者に對しては懲役一年以下若くは罰金一萬圓以下

◎査定證紙又は群魚加工水産物登錄店以外の業者に對しては營業取消し若くは停止

◎禁製品要重資材使用制限違反者（即ちゴム製品皮革類輕金屬類）に對しては懲役十年以下若くは十萬圓以下の罰金

全炭系の石復役員

地方石復會議へのせん出役員が未定だつた全石炭福島本部では二十五日宮崎正一（茨城）村上俊夫（福島）菊地房雄（山形）の三名を決定

マッチ配給

市では二十九日より次の要領でマッチ配給を行う、舊通帳の臨時券三十號を使用する

二人まで並型一個、六人まで小型一個と並型二個、九人まで小型二個と並型五個、十人以上小型二個

縫針配給

市では家庭用縫針の配給を二十九日より綜合通帳の臨時券三十一號に依つて行う、一人六本の割合

婦人グッ

職場婦人靴の市郡下割當百三十二足が此の程地方じ務所になつたが配給は四月上旬になる見込み、値段は五百六

いわき寸言

十圓

◎全遞再びスト、然し電話事務に反省の色を示す　善哉〳〵

◎整然たるストは炭礦や一般勞組にみて公廳と違うストにまで役人根性は出るものかナ

◎縫針がいよ〳〵配給まさかサビてはいまい

証券に關する御相談に應じます
平和證券株式會社
取締役社長　諸橋敬一郎
專務取締役　臼本　最一
常務取締役　岩下　喜平
平市白銀町一（電八八）

また　すぶる
舊玉川分村問題
農協組設立で一揉み
小名濱町の農協しめんとした處舊玉川組設立準備會は村の例の分村問題で活潑に開き、町側は金藤太郎氏等は舊小名濱側と舊玉川側とに分離二組合設立を策し、遂に決戰投票を行つたが四十四對四十八で町側の主張が破れた、依つて町側も賛否同數として一時押切つて解決を後日にゆづることとしたが、之に對し分離派は不當とし二十五日縣に實態を說明、善處方の懇願書を提出した、此の裏面には農協組で一町村一組合と限定されていないのにつけ込み分村問題に破れた腹いせに分村派が出たものと町側はみているが、いづれにせよ面白からぬ傾向と地方事務所側も成行を注視している

即金（電96）
衣類一般御買受
期限附御賣戻しに應じます
平銀座ヨコ組小路　大崎屋

性病科
内科　電828
平市盛田町　矢吹醫院

十圓
縫針配給
婦人グッ
英語教授
初等科（月水金、午後六時半—八時）
中等科（月水金、午後五時—六時半）
補習科（隔日、午後三時—五時、隨時）
四月一日開始七月下旬迄申込隨時
平市南町七六（平產業組合講習所校内）
私塾　英語補導會　電二〇七
文學士　鈴木傳三郎

金庫㊀販賣
火災盜難保險付金庫並大扉製作
金財産の保護には金庫より確信の得るものはありません　自分の財産は自分から守れ
東京第一の製造工場
日本銀行東京都廳指定
橋本金庫製作工場
工場　荒川區南千住六の一九八
營業所　台東區三ノ輪町七五
電話浅草（〇三四〇番）（〇六五九番）
御下命乞一報
東北代行　秋金庫商會
平市槌路小路二五

演講と畫映は27日
益々好評博すモロッコへの路
抱腹絶倒見逃す勿れ
講師　セントラルモーション　ピクチュアエクスチェンヂ
土屋太郎氏
近着アメリカ映畫に就て
講演時間　ヒル二時より一時間　ヨル六時より一時間
皆樣の出間をお願ひ致します
聚樂館

皮膚科
泌尿器科
江尻醫院
平市材木町一二一
平東寶座（電二四八）

昭和二十一年六月一日（第三種郵便物認可）

公武合体論者 安藤對馬守信正

維新史料國民史料による

史談會員　鈴木光四郎

八月二十二日

幕府は所司代酒井忠義に命じて皇妹和宮の降嫁の事を促中心として協議した結果九月し且將軍の降嫁奉承謝恩の手五日附で次のように奉答した

綱

調度進獻物の準備、發輿期日、旅中の隨從警備等に就て密に朝旨を候せしめた。

八月二十三日

有栖川宮は九條關白の内示によつて皇妹和宮との婚儀延期を奏請されたが之は聽許された。

九月一日

しん朝を九條關白に賜り和宮が希望した幕府の復答を促さしめられた。

これに對して幕府は信正を御内々御尋の儀に付御返答左に申上候

一、和宮樣御緣談御治定の上者御別紙の通右宮よりも御懇願被爲在候に付而者聖慮にも御默止難被爲思食候間、先御内談被遊候旨奉畏候。右御懇願の御請者則以別紙奉申上候

一、和宮御方御緣談に付而者外人の儀に付一應にても實意の評定奉申上候樣御

内沙汰の趣奉畏靈衆議候上自今十々年も相立深く御賞々御思召も相立候。

一、御緣組御治定の上は和宮御方へ御仕向等の儀御當に言上可仕旨奉畏候。

一、有栖川宮の儀も此度御沙汰に相成候に付而者御跡の處育御令勘考可仕儀是又奉畏候。

右の條々恐以書取御請奉申上候事

九月五日　安藤對馬守

久世大和守

内藤紀伊守

本田美濃守

九月十九日

しん翰を九條關白に賜い和宮の請を容れて明後年降嫁あるべきを宣示された。關白は之を所司代酒井忠義に傳達した。

九月二十一日

所司代酒井忠義書を上りて重ねて和宮の今年十一月降嫁あらせられん事を奏請した。

九月二十七日

九條關白は書を橋本參議に致して和宮の今冬を以て降嫁あらせられるよう斡旋されることを依頼した。

十月五日

しん翰を九條關白に賜い和宮の明春降嫁のことを奉承されたゝを以て之を宣示し且つ和宮の懇願關係に對する幕府の確答促さしめられた。明日關白は之を所司代酒井忠義に傳達した。

十月七日

和宮は書を上つて明春降嫁に關して答謝された。その奉答書は次の通りである。

御書かしこまり拜見申上參候。彌御機嫌よく成らせられめで度ありがたく參候。

左樣候得ば此の間は大すけ長橋御使にて關東之下向の趣段々御斷り申候得共度々申參り候に付御上にもかれこれ御心配遊ばしいただきあつき思召の程段々伺ひ誠に恐入參候まゝ天下泰平の爲に誠にいやいやの事余儀なく御うけ申上候事におわしまし候。來年は關東にて年割悪き由申參候まゝ私も同樣氣掛りの事ながら此度仰せ立られきりの思召のよし何も承り等存候段々御あつき御挨拶とも伺入等參候。彌治定の上は願度事ども御座候御事は御承知も遊し候よし。なを申上候へばよろしく願參候。また下向いたし遣方と御兄だいの御申御さきあそばされ候御事はあらせられず御杖にもなり賊き參らせ候よし。御厚き思召迄深く辱り參候。猶よろしく願置參候。又御上より思召よりの御事仰られ且一仰立候御事在らせられ候せつは私より取計ひの事何も伺置候得共これは御わけ柄により心得候事と存參候

かしく

誰ぞ申給へ　かず上

尙十月十七日に主上は岩倉種に苦衷を次のよう御告げになつたと岩倉公實記に記錄されている。

先帝（仁孝天皇）の皇胤としては朕と敏宮、和宮三人あるばかりだ。皇妹を降して武將の婦となし先居山陵所在の地を離れ兄姉と相見ることの出來ぬ樣にすることは骨肉の情として忍びない。されど國家の大計としてはやむを得ず關東の請願を容さんと欲して其言を和宮に諭した。

和宮は之を固辭して申す樣此の身は先帝遺腹の女にして一回も先帝の御顏を拜することが出來なかつた。これは終生の遺憾である。希くば柴御所に入りて削髮し歲時先帝の山陵に謁し香花を獻げ追孝の志を遂げ申したい。因て關東の請願は御決意を示された。そのときの斥けありたしと申した。朕は再々親諭しここに於て和宮は若し一女子の身にして國難を濟ふを得ば水火の中に投ずるも辭せずと上答し之を承諾した。朕はその哀情を憐みたいと遂く山河は隔つるも朕は和宮の杖となりて之を扶く可しと露約し和宮も大いに其の心を安んじ今や彌よ發程の機に迫つた。朕は之を念へば惜別の情に堪へない。卿等和宮に隨行して關東に到着せば曾て和宮の内願の事件は奉承實行せんことを猶老中安藤信正に面諭せよと。岩倉、千種は敬で勅命を奉じた。

以上のように和宮は孝明天皇の御言葉に從つて五條件をつけて涙をのんで御同意された。國のために嘆んで降嫁される決意を示された。そのときの御歌は余りにも有名である。

借しまじな君と臣とのためならば
身は武藏野の露と消ゆるとも

信正はこの知らせを聞いて非常に感激した。信正の一生に於てこのような感激と喜悅に滿ちた時はなかつたと思はれるのである。

四月の送炭計畫決る

鐵道や硫安工場用增加さる

配炭常磐支團の產業別四月分暫定送炭計畫は在の如く決つた三月に較べて鐵道用が四千トン硫安工場用が二千トン增加したが雨の多かつた關係その他から電力用は四千六百トン、セメント用は六百トンの減となつている

▽進駐軍用四九、二八〇▲電力用五、〇〇〇▲鐵工用一〇、九九〇▲鑛山用九、二七五▲セメント用九、三六四▽硫安工場用八、三二八▲化學工場用一三、五二九▲紡績用一五、六六三▽食料用一五、〇〇七▽官公衛用一四、一八八▲國鐵用五六、〇〇〇▽其の他七三、二八六

流石は常磐鑛

中堅鑛もよく振う だが中旬また赤字

常磐炭田中旬コ内目標、單位トン）

出炭は東北が目標七萬二千七百トンに對し七萬二百二十一トンで二千四百七十九トンの赤字、東部もまた二萬八千三百トンに對して二萬二千百五十トンで千百五十トンの赤字のため合計目標十萬一千トンを八千七百二十九トン割る九萬二千三百七十一トンの實績であつた縣内主要炭鑛の成績は（カッ内目標、單位トン）

◎常磐二九、九〇六（二七、三〇〇）◎古河好間七、五七七（八、八〇〇）◎大日本勿來五、八〇一（五、八〇〇）◎小田二、三〇七（二、四〇〇）◎隅田川一、〇八八（一、四〇〇）◎矢郷九八五（八〇〇）◎磐八六〇（九〇〇）◎戸部七七五（八〇〇）◎上山田一、二三四（一、八〇〇）◎日曹赤井二、〇四二（二、一〇〇）◎全福島四五五（七〇〇）◎三松七〇四（六五〇）◎黑田九二四（九〇〇）◎小野田八七〇（一、〇〇〇）◎三和六二九（六五〇）

以上の通りで三主力鑛の隨一たる常磐鑛は斷然二千六百六トンの出超で斷然その實績を誇り大日本勿來の主力鑛の意氣を示し中野鑛として實力を誇る磐鑛、矢郷鑛、三松鑛、黑田鑛とゝもに尋い出超を示している

三月輸送も赤字を

山元貯炭減らず

常磐各鑛の貯炭は增炭トンが漸くでざつと二萬トンの赤字である、從つて鐵道、硫安電力等々の重要產業關係は計畫通りをするもその他一般產業用は平均一割五分の減送は免れない狀態である、なおさきに日邦丸により小名濱港から名古屋に向け六百五十トン海上輸送したが、更に近く第二回輸送も計畫を進めている

私の好きなものは

終戰後世の中がガラリと一變、人々の思想にも大きな影響があつた、サテ今日崇拜される人物は、政黨はどんなものか又趣味は——

以下は本社の趣味好きな人物及び政黨の三問に對する回答であるが、こゝにも世の動きがにじみ出ているとみられる

（7）

一、趣味は
二、好きな人物は
三、好きな黨派は

平高等洋裁學院生徒　菊田京子

一、生花
二、山下春江代議士
三、民主黨（中廟の道を進み黨の方針を實踐されたい）

平高等洋裁學院生徒　坂本喜代子

一、讀書
二、山下春江代議士
三、民主黨（女性の味方である政黨）

平高等洋裁學院生徒　遠藤一枝

一、洋裁
二、島崎藤村

課題

一、讀書
二、加藤シヅエ代議士
三、社會黨（民衆の聲を良く聞く政黨）

平高等洋裁學院生徒　根本成子

一、和歌
二、小杉山初子先生（敎育者として熱意ある人）
三、民主自由黨（自由經濟による明朗さを取りもどす政黨）

平高等洋裁學院生徒　猪狩君江

一、洋裁
二、小杉山初子先生（敎育者）
三、社會黨（中廟の道を進む政黨として）

平高等洋裁學院生徒　小野藝久子

一、洋裁
二、小杉山初子先生
三、社會黨（民主黨の政策をとる政黨）

平公共職業安定所次席　大竹榮一

一、日本的歌謠、音曲（琴、三味線、尺八）
二、大越新（築野で迫力に富む）
三、中廟の政策をとる政黨

募集
女中さん入用
喫茶店　エビス
湯本町ウラ町

洋裁材料
オリオンのぐ
ポスターカラー

文房具 蔵書 雜誌 度量衡
魅文堂
福島市 電三一三

神經科
内科　精神科　電15
平市田町
新田目醫院

カメラ
タイトル
平市三丁目

積り積りて見ざつと十九万圓也

相變らず多い遺失物

こんなセチ辛つと金額に見積つて十い世の中でも九萬六千九百七十一回落し物はある（四百十六件）に達した

この中には列車の取締りの際讀丸りにした無主物も含まれてをり色

噂の男の會場變更

松竹映畫佐野周二主演の噂の男は

十六日湯本座と三函座で行はれるはずだつたが、會場の關係で自治會館で昨夜五回やつた

油斷出來ぬ顏見知り

二萬八千圓の横領を企つ

市内古鍛冶町山田幸之助さん（三三）は二十五日午後二時ごろ全町青果物商鈴木アキヨさん（六三）方で一丁目果實商飯塚フヨ子さん（四一）が鈴木さんから預受けたリンゴ箱二十代金二萬八千圓を支拂いに來たが鈴木さんが用邊に出て不在の所から顏見知り小名濱町受去下無職德元政勝さん（三六）は二十五日午前十時ころ全町村近踏切りを自轉車で通行中小名濱臨鐵下り列車に衝突したが自轉車大破　右肩と右足に全治一ケ月の傷を負つたのみで助かつた

列車に衝突

畜產農協組

二十八日設立

石城郡畜產農業協同組合設立總會は二十八日午前十時から平署會議室に開き事業計畫、定款の承認理事、幹事の選任を行ふ

平第一校でミシン盜難

平第一小學校では去る二十四日夜裁縫室からミシン一台を盜まれた

腦背髓膜炎流行に注意

一時天候が不順だつたためか石城郡下に流行しようと平地區　自治性腦背髓膜炎患者が續出　二十五日現在で内二十四名、他の町村を合せると二十二名も發生した、うち死亡したもの七名で特に注意が要望されている

音樂校出の女白浪御用

若松南西分一丁目窃盜前科一犯新田ふさ（三六）は去る二十日午後三時ところ平市南町上田病院待合室で澤渡村根小屋農草野ふさ子さんの親金千圓入りのホームスパン製女物コートほか六點を盜み手配中二十五日平署に市内を徘かい中捕われた全女は東廻り人の氣も知らない洋音樂學校ピアノ科出でと目を白黑　吐息の身の才女ながら惡に身連發

灰

すミを退治して暮し良い世のなかに

天然痘の疑で

磐崎村上湯長谷字氷倉七二坑夫杉下義光さん妻ミサオさん（二四）はこの程天然痘凝似患者として隔離されたがその後調査の結果、疑もはれる見込みである

雛人形陳列即賣會

おなじみの東京流の人形問屋が出張即賣致します

一、期日三月二十七日より四月十一日まで
一、場所　平驛前中央通り世界館側

大和屋酒店内

東京人形問屋　王扇

移轉廣告

新　平市古鍛冶町九二番地
舊　平市紺屋町二十一番地

右の通り移轉いたしました、なお當分の間電話は八〇四番のみ使用いたします

三月二十六日

平地區商業協同組合